

# 株式会社日本政策投資銀行(DBJ)の 特定投資業務の在り方に関する検討会資料

2019年11月8日

一般社団法人 全国地方銀行協会

Regional Banks Association of Japan

- 会員行からは、DBJには会員行の不得手な分野や専門性の高い分野、単独では対応が困難な案件に積極的に関与していただいているといった意見が多く寄せられている。
- また、会員行向け各種勉強会の開催や人事交流等、特定投資業務に限らず幅広く連携・協働ができている状況。

## 主な連携・協働の取組み

- 共同ファンドの組成(詳細後述)  
2019年10月現在：計24件(うち特定投資業務関連ファンドは11件)
- DBJ組成の海外PEファンド共同投資プログラムへの参加  
海外PEファンドに対する豊富な投資実績を有するDBJアセットマネジメント(株)が発掘・提供する投資案件について、会員行(千葉、静岡、東邦、群馬、常陽、山陰合同、京都)とDBJとで共同投資を実施
- シンジケートローンにおける協働(2018年度実績)  
協働組成案件：39件、1兆147億円(うち会員行3,278億円) うち共同アレンジ：5件、503億円(うち会員行297億円)
- 会員行向け各種勉強会、セミナー等の実施  
勉強会テーマ：共同投資、メザニン、事業性評価に基づくソリューション提案事例研究、シンジケートローン協働アレンジ 等  
セミナーテーマ：PFI/PPP、医療・介護、リスクファイナンス、メザニン・事業再生、M&A、成長資金 等
- 人事交流  
DBJの持つ高度なノウハウを習得すべく、会員行から定期的に出向者を派遣(累計約100名)

# 1.2

## 地方銀行におけるDBJとの連携・協働

### 地方銀行におけるDBJとの共同ファンド(※)

	観光活性化 マザーファンド	しずおか 観光ファンド	奈良県 観光ファンド	九州 観光ファンド	いばらき 創生ファンド	いわて 復興・成長 支援ファンド	みやぎ 復興・ 地域活性化 支援ファンド	ふくしま 復興・成長 支援ファンド	せとうち結 ファンド	とうきょう 活性化 ファンド	じもと創生 本業支援 ファンド	東海地域 中核産業 支援ファンド
設立年	2014年 4月	2015年 3月	2015年 9月	2015年 10月	2015年 1月	2014年 12月	2014年 12月	2014年 12月	2014年 9月	2014年 9月	2015年 10月	2016年 1月
対象事業 /地域	観光関連/ 全国	観光関連/ 静岡	観光関連/ 奈良	観光関連/ 九州	成長支援/ 茨城	復興支援/ 岩手	復興支援/ 宮城	復興支援/ 福島	事業承継/ 広島	成長支援/ 首都圏	成長支援/ 山形・宮城	成長支援/ 東海
有限責任 組員	REVIC リ・パートナーズ DBJ	観光活性化MF 静岡銀行 他	観光活性化MF 南都銀行	観光活性化MF 福岡銀行 他	常陽銀行 DBJ	岩手銀行 REVIC DBJ	七十七銀行 REVIC DBJ	東邦銀行 REVIC DBJ	広島銀行 西京銀行 トト銀行 DBJ	きらぼし銀行 リ・パートナーズ DBJ	きらやか銀行 仙台銀行 DBJ	十六銀行 DBJ
	伊予 成長支援 ファンド	みらい 地域活性化 ファンド	せとうち 観光活性化 ファンド	熊本復興 応援ファンド	ほくほく 応援ファンド	しずおか 事業承継・ 事業継続 支援ファンド	いわて 飛躍応援 ファンド	みやぎ 地域 価値協創 ファンド	ふるさと 産業躍進 ファンド	つむぐ 事業承継 ファンド	西日本 広域豪雨 復興支援 ファンド	北海道 活力強化 ファンド
設立年	2016年 1月	2016年 1月	2016年 4月	2016年 7月	2018年 1月	2018年 3月	2018年 9月	2018年 9月	2018年 9月	2018年 9月	2018年 10月	2018年 10月
対象事業 /地域	成長支援/ 愛媛	成長支援/ 神奈川	観光関連/ 瀬戸内地域	復興支援/ 熊本等	成長支援/ 北陸	事業承継・ 成長/静岡	成長支援/ 岩手	成長支援/ 宮城	成長支援/ 福島	事業承継/ 横浜	復興支援/ 西日本	成長支援・ 復興支援/ 北海道
有限責任 組員	伊予銀行 DBJ	横浜銀行 東日本銀行 DBJ	瀬戸内地域の 金融機関 CJ機構 DBJ	肥後銀行 鹿児島銀行 DBJ	北陸銀行 DBJ	静岡銀行 DBJ	岩手銀行 DBJ	七十七銀行 DBJ	東邦銀行 DBJ	横浜銀行 東日本銀行 DBJ	広島銀行 中国銀行 伊予銀行 愛媛銀行 他	北海道銀行 北洋銀行 DBJ

(※) 2019年3月末時点(投資期限満了となっているファンドは除く)、ハイライトは特定投資業務対象ファンド

## 成長支援ファンド事例～常陽銀行～

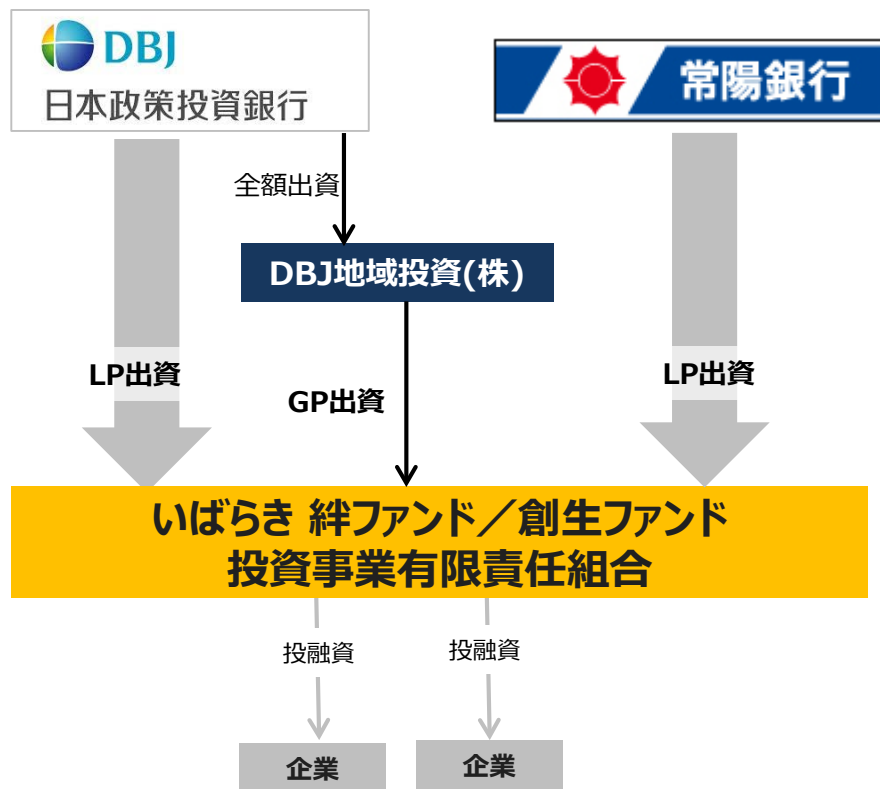
- 東日本大震災の復興を目的としてDBJと1号ファンド(いばらき絆ファンド)を組成。
  - 1号ファンドの投資期限満了後、復興から成長という地域課題の変遷に応じ、事業基盤の強化や拡大、第2創業、事業承継などあらゆるステージの企業の成長を支援する2号ファンド(いばらき創生ファンド)を組成。
- ※特定投資業務開始前の組成のため、特定投資業務の資金は入っていない

## いばらき絆ファンド

名称	いばらき絆投資事業有限責任組合
設立	2011年9月
ファンド総額	2,000百万円
GP	DBJ地域投資(株)
LP	常陽銀行 日本政策投資銀行

## いばらき創生ファンド

名称	いばらき創生ファンド投資事業有限責任組合
設立	2015年1月
ファンド総額	3,000百万円
GP	DBJ地域投資(株)
LP	常陽銀行 日本政策投資銀行



主要論点	意見等
地域におけるリスクマネー供給市場の現状についてどう評価するか	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 低金利環境で融資利ざやが縮小する中、会員行はリスクマネー供給の拡大を含めた新たなビジネスモデルの模索を続けているが、リスクマネー供給の進捗状況については各行によって差が見受けられる。</li> <li>□ <b>リスクマネー供給の取組みが進んでいない銀行においては、DBJとの共同ファンドを通じた投資事業のサポートはありがたく、また、取組みが進んでいる銀行においても、ノウハウ共有・案件取組み機会の拡大・リスクシェアの観点で、長期的・中立性のあるDBJとの協働は非常に有用。</b></li> </ul>
特定投資業務を通じた地域案件等をどう評価するか	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ DBJには会員行の融資だけでは対応できないような、地域企業のリスクを取った取組みを後押ししてもらっている。地域案件の中には少額の案件、短期的な高収益が見込み難い案件もあるが、DBJには積極的に関与していただいているという認識。</li> <li>□ 地域ではリスクマネーの供給者、供給量ともに東京と比較し少ない中、DBJが地域企業・地方銀行と共にリスクマネーを供給する仕組みとなっている特定投資業務は、<b>リスクマネーの量的補完という観点に加え、地域におけるリスクマネーの出し手の育成という観点からも大変ありがたい。</b></li> </ul>
今後、より一層の成長資金の促進を図るために、特定投資業務を通じて行うことができる更なる取組みはどのようなものがあるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 地域においては事業承継が喫緊の課題。会員行の中には、既に事業承継に特化したファンドを立ち上げ、DBJとの協働ではなく単独GPとして運営している銀行もあるが、そのような銀行が今後増えたとしても案件の増加が今後見込まれることを踏まえれば、<b>LP出資等を通じて量的補完とノウハウの提供をしてもらえるとありがたい。</b></li> <li>□ 加えて、地域発のイノベーション・起業支援もあわせて協働で行うことで、地域経済の新陳代謝の促進を一緒にやっていきたい。</li> </ul>
DBJの特定投資業務に関し、民業補完・奨励及び適正な競争環境の確保等、業務の適切な執行の観点で問題はないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 年二回、当協会とDBJで意見交換会を行っているが、<b>DBJには投融資案件での協働、勉強会の開催等を通じたナレッジの共有、人事交流等、様々な面でお世話になっているという意見が中心</b>である。</li> <li>□ 今後、会員各行が多様な課題に直面する中で、それぞれのニーズに応じた協働をしてもらえることを期待。</li> </ul>
今後の特定投資業務の在り方に関する基本的な考え方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 地域におけるリスクマネー供給の促進、その先にある地域活性化には引き続き取組む必要があり、また地域案件は中長期的な視点で取組まなければならない案件も少なくないため、<b>特定投資業務の継続は必要。</b></li> </ul>